

G-6 女子高校生とその母親の職業意識について(第2報)

福岡教育大教育 高木葉子 精華女短大家政 ○井上洋子

目的 } 第1報と同じ
方法 }

結果 第1報に続いて女子高校生の意識調査を中心に報告する。

- (1) 職業と家庭の両立に対する志向では、結婚と同時に退職する、出産と同時に退職する、とするものがそれぞれ31%、35.4%で出産後も職業を続ける、11.2%、育児終了後再就職する、16.7%にくらべてかなり高率である。これらについて母親の職業の有無による影響はあまりみられないが、娘への希望と比較すると、結婚・出産時退職および両立志向では娘よりやや低率であるのに、再就職が娘より高率(24.2%)である。母娘の意識の関連については、再就職のあり方を含めて今後研究の余地がある。
- (2) 将来の希望職業では、もっとも多いのが事務員(37%)で、教員(12%)、専門技能職(18.7%)にくらべ高率である。これを(1)との関連で見ると、事務員希望の中では結婚・出産時退職が80%をこえ、両立志向は3%でしかないのに対し、教員希望の24%、専門技能職希望の25%が両立志向である。

女性の職業継続への要求が高まっている中で、調査した女子高校生の両立志向は意外に少なく、希望する職業の領域もせまい。学校教育における女子の職業指導理念の確立が、今後の緊急な課題であると思われる。